

鹿児島市議会議員

なかはら力 ちから

議会報告 vol.29

【略歴等】

1973年8月14日川上町生まれ
2012年初当選（現在2期目）
建設委員長、都市整備対策特別委員会委員長
などを歴任。
委員会：総務消防委員会
議会運営委員会（副委員長）



6月議会

市バスの路線移譲、児童クラブ整備や幼児教育の無償化など

今議会では、大明丘・大明丘第三など計6つの児童クラブの整備や10月からの幼児教育の無償化に伴い保育料条例の廃止などが議決されました。また、本会議では、市バスの路線移譲に関する質問が多く出され、市民生活に直結する課題なので、各面から活発な質疑が交わされました。

この課題については、今後も当局の動向を注視してまいります。以下、今議会での主なる質疑や事業等をお知らせいたします。



■ 本会議場での中原議員

本会議

■ 市バス 20 路線民間移譲 設置者としての市長の見解は



答 市営バスは、市民に身近な交通手段として、本市交通体系の一翼を担う

とともに、災害時における避難輸送での迅速な対応など、まちづくりにも重要な役割を果たしてきている。

この度、路線移譲についての民間事業者との協議を整え、基本協定を締結する運びとなったことは、経営改善による事業継続の道筋が見えてくるとともに、市民の移動手段の維持確保が図られると考えている。

今後とも、公営交通事業者である交通局には、その使命と役割を果たすため自動車運送事業の抜本的見直しを着実に推進してほしいと考えている。

■ 路線維持の責任と交通局への経済効果

答 移譲路線の運行経路や便数については、利用者数の状況等を踏まえ、（3年間の）期間終了後も可能な限り、維持していただけるものと考えている。

経営面への効果としては、人件費や関連経費の縮減のほか、車両など不要となる資産の売却等により、自動車運送事業の赤字が縮小し、抜本的見直し期間終了時点で、軌道事業を含めた交通事業全体での収支均衡が図られると考えている。

■ 幼児教育・保育の無償化について 無償化の考え方と保育士の確保は？

幼児教育・保育の無償化については、保育料を無償化するもので、通園送迎費や給食費など保護者から実費で徴収する費用は、無償化の対象とならないとされてる。



※ 画像イメージです。

保育所等の定員については、施設整備により、来年4月に、230人の定員増を図ることとしている。

また、保育士・保育所支援センターにおけるマッチングや復職支援研修会の実施などの潜在保育士の掘り起しや関係機関との意見交換会を通じて、保育士を目指す学生等に対し、保育所等への就労促進を図るなど、さらなる確保に努めてまいりたいと考えている。

社民・市民フォーラム鹿児島市議団

市政報告

6月 議会号

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1

鹿児島市議会社民・市民フォーラム控室

電話：099-216-1438

FAX：099-226-1019

<http://www.sdp-kagoshima-city.org>

■ 国際交流センター条例制定について



旧市立病院跡地の北側に隣接する旧立体駐車場跡地に、建設中

の「国際交流センター」の設置条例が可決されました。

同センターは、国際交流の機会を創出し、国際相互理解を促進することにより、鹿児島市の国際交流を促進するための施設で、1～2階が交流施設、3～8階が宿泊施設となり、使用料は、1時間につき、多目的ホールが1,000円、研究室と調理室が300円、和室が100円で、2020年4月の供用開始予定です。

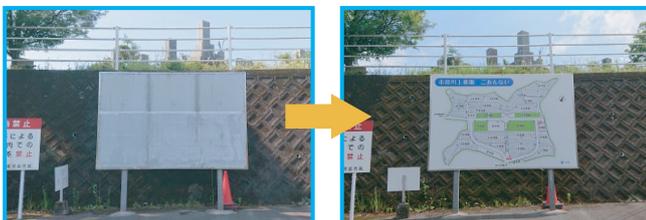
■ 児童クラブ整備 約1億2,800万円

6月補正において、6児童クラブの施設整備予算が可決されました。大明丘・大明丘第三、広木第二・第三、東昌の5クラブは専用施設として整備され、和田は専用施設の解体を行う予定です。施設整備費は1億2,855万6千円、財源の一部として、国・県の補助金が充てられます。

今後も、クラブの整備については、引き続き取り組むとともに、支援員の処遇についても、改善が図られるように取り組んでいきたい

地域

ご要望等ございましたら、遠慮無く、295-7288 市議会議員 中原ちからまでご連絡ください。市営川上墓地の案内板が新しくなりました。



■ 森林の整備・担い手の確保のために

森林の整備などに要する費用に充てるために、鹿児島市森林環境譲与税基金を設置する議案が可決されました。

森林環境税は、国税として令和6年度から1人年額1,000円課される予定で、譲与税は、令和元年度から市町村と都道府県に譲与されます。

令和元年度は、約4,300万円、令和15年度以降は、約1億4,600万円が鹿児島市へ譲与される見込みです。

このお金は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進啓発等の森林整備及びその促進に当てられる予定。

当局においては、市の民有林は、27,000畝あり、林地台帳等を作成したが、全ては、特定できていない状況にあり、所有者の意向確認は、今後実施する予定です。

■ 消防ポンプ車の更新について

今議会において、消防局で、水槽付消防ポンプ自動車と電動アシスト式ホースカーを購入することが決まりました。

平成17年度に購入した谷山分遣隊の自動車を更新するもので、桜島の大爆発時の大量の降灰を考慮し、フルタイム四輪駆動方式を採用しました。購入価格は約4,400万円です。



■ ポンプ車のイメージ写真（消防局HPより）

道路標識が見えにくくなっていた下田公園野球グラウンド付近の道路の伐開が終わりました。



身近な市民相談は 電話：295-7288 まで、お気軽にご相談ください。